平成 24 年 4 月 27 日

各　　位

東京都渋谷区千駄ケ谷5-21-3
株式会社ビー・エム・エル
代表取締役社長　福田　和太
（コード番号：4694 東証第一部）
（問い合わせ先）取締役執行役員　山下　勝司
電話 03-3350-0308

国際治験用共同ラボの機能拡充に関するお知らせ

当社はコーヴァンス社（Covance Inc., NYSE：CVD）と共同で、2010 年９月、当社総合研究所（埼玉県川越市）内に国際治験用共同ラボ（以下、「CB 治験ラボ」）を開設し、順調に事業を伸ばしてまいりました。この度、臨床試験の需要拡大に対応するため、CB 治験ラボに新たな検査機器を導入して機能拡充を図りましたので、お知らせいたします。当社とコーヴァンス社は、医薬品開発のグローバル化に対応するため、今後一層の国際治験受託事業の拡大に努めてまいります。

１．ラボ機能拡充の経緯

コーヴァンス社は、米国に本社を置く世界有数の医薬品開発支援機関であり、日本においても 2004 年に日本法人を設立し、事業を展開しています。当社は、同社と共同で 2010 年 9 月に CB 治験ラボを開設し、国際治験事業の強化とサービスの拡充を図ってまいりました。その結果、測定数が予想を上回って増加したことから、今般、国内での検査実施を望むお客様のご要望に対応できる環境を整えることが必要であると判断いたしました。

２．ラボ機能拡充の内容

ラボ業務の品質と生産性の向上を目的として、部門配置を見直し、「検体受付・発送部門」を「検体検査部門」から独立させました。また、CB 治験ラボの延床面積を 50%拡張し、従来より実施している生化学的検査、血液学的検査、尿検査等、安全性試験に関する検査に加えて、フローサイトメーターによる血液学検査、免疫学検査、及び特殊生化学検査機能を追加し、緊急性の高い検査項目を日本国内で実施できるようにいたしました。CB 治験ラボは、CAP（米国病理学会）認証*1、CDC（米国疾病予防管理センター）認証*2、及び NGSP（グリコヘモグロビンの国際基準値を定める機関）レベル 1 認証*3 取得ラボとして、国際標準の高品質な検査を提供してまいります。

コーヴァンス社

1987 年設立、本部は、ニュージャージー州プリンストン。売上高約 20 億ドル超、30 カ国以上に 11,000 人以上の従業員を有する。マーケティングリサーチ、前臨床試験から臨床試験及び

商業化まで包括的な薬剤開発ソリューションの提供の他、化学、農薬、食品検査サービスも行なう。

*1 CAP（米国病理学会）認証：
病理及び臨床検体の質を確認し、ラボの発展と体質改善、維持管理を行うことを目的とした米国病理学会による認定制度　CAP=College of American Pathologists

*2 CDC（米国疾病予防管理センター）認証：
脂質の標準化を目的とした米国疾病予防管理センターによる認定制度　CDC=Centers for Disease Control and Prevention

*3 NGSP（グリコヘモグロビンの国際基準値を定める機関）レベル 1 認証：
糖尿病マーカーであるグリコヘモグロビン値の標準化を目的とした米国グリコヘモグロビン標準化プログラムによる認定制度　NGSP=National Glycohemoglobin Standardization Program

以上